

「東京文化財ウィーク2018」の開催について

1 東京文化財ウィークの趣旨及び概要

【趣旨】

文化の日を中心に都内全域の文化財の公開や様々な企画事業の実施により、都民等が文化財に触れる機会を提供する。

【ウィーク期間】

- ・公開事業 10月27日(土)から11月4日(日)まで
- ・企画事業 10月1日(月)から11月30日(金)まで

【実施主体】

東京都、区市町村及びNPO団体等

事業概要

① 公開事業

- ア 特別公開(97件参加)
- イ 通常公開(400件参加)

② 企画事業(268事業)

文化財めぐり、特別展、講座・講演会、
現地鑑賞会、実演、
聴覚障害者・視覚障害者向け教養講座の実施等

2 特別公開

◆ 通常は公開されていない文化財を一斉公開する。



旧前田家本邸(洋館・目黒区) **修理後初公開**

旧加賀藩主の系譜を引く前田利為の本邸として昭和4年に竣工した。通常は公開していない部分も公開する。

公開日 10月27日～11月4日



福島家住宅(青梅市) **修理後初公開**

江戸時代に村名主を務めた福島家の住宅。保存状態も良く、現在も大事に住み継がれている。

公開日 10月27日、28日・11月3日、4日



東京水産大学 雲鷹丸(港区) **本年度新規参加**

農商務省の練習船として建造された。パーク型米国式捕鯨船としては世界唯一の遺構である。

公開日 11月2日～11月4日



銅板源為朝神像(八丈町) **八丈島に語り継がれる伝説**

大島に流され、八丈小島で討たれたとされる源為朝への信仰を伝えている。

公開日 10月27日～11月3日

3 企画事業

◆ 広く都民等を対象に、文化財に親んでもらうことを目的に文化財めぐりや特別展、講演会等を行う。

企画事業例

○浜離宮恩賜庭園で知る・楽しむ!「東京150年」

東京府開設150年を記念し、江戸から明治への移り変わりを中心に、講演会、パネル展の外、日本文化体験等屋外イベントを実施します。

(公益財団法人東京都公園協会)

○「東京文化財ウィーク2018」参加企画展「江戸を描く—出版文化から見る江戸—」

江戸で花開いた出版文化から、江戸の姿を紹介します。あわせて、重要文化財「江戸城造営関係資料」も展示します。

(東京都立中央図書館)

○秋の歴史文化講座 明治150年記念講演「ヴィクトリアン・タイル—旧宣教師館を彩る装飾」

雑司が谷旧宣教師館の暖炉まわりを彩るヴィクトリアン・タイルについてお話しいたきます。

(豊島区立雑司が谷旧宣教師館)

○縄文食体験

木の実をつぶして作る縄文クッキーや、イノシシの肉などを入れた縄文鍋など、縄文時代の調理方法を体験します。

(東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センター)

4 広報

「東京文化財ウィーク」を都民等に周知し、各区市町村等の取組を支援するために、次の広報活動を行う。

- ポスター、ガイドブック(公開される文化財やイベントの情報)等の作成
- ホームページの活用(都教育委員会HP、区市町村・民間団体のHPとのリンク)